【別紙様式】

学力向上に効果のある取組事例

由布市立由布院小学校

⑰校内研修などによる授業改善

取組の具体①

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得に向けて、課題を明らかにし、焦点化して授業改善・補充学習に取り組む。

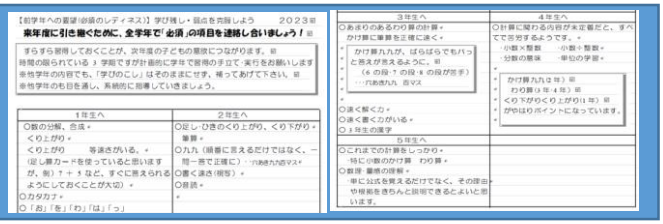
★3～6年は、12月の市学力調査の結果を受けて未習熟の内容と正答率分布図から、子どもの実態を分析し、（資料①）補充学習計画を学年で立て、実践した。

★「学年別達成表一覧」を活用して、子どもの習熟をチェックし、課題を明らかにした。（資料②）

★前学年からの「引き継ぎ表」を活用し、補充ポイントを絞った。（資料③）

例）視写を取り入れた学習
タブレットを活用した音読
帯で計算活動を授業の中に

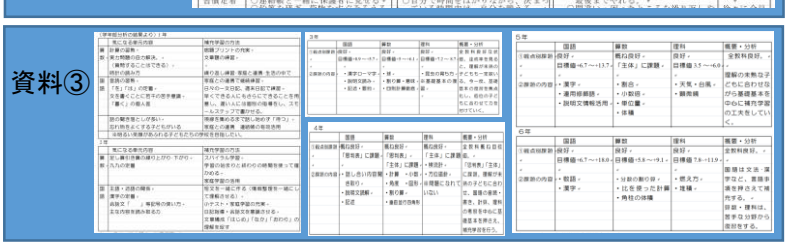
資料①


【前学年への要望(必読のレディネス)】学び残し・弱点を克服しよう　2023年
来年度に引き継ぐために、全学年「必須」の項目を連続し合い申しよう！

資料②

学年別達成一覧表(例案)　身に付けさせる基礎基本の徹底　由布市立　由布院小学校

資料③



取組の具体②

②4点セット・校内研究とつなげた校内研修による授業改善

・算数科の授業における「習熟に差がある場合の授業の進め方」「子どもの学習を見取って、ふりかえり練習・家庭学習につなげる授業」について、授業過程のどこに重点を取り組むべきか話し合い取り組んだ。

・「自分の考えを伝える」「書けるようになる」を目指して、全校で「ペア・グループ活動の活用」「ふりかえりの充実」の授業改善に取り組んだ。校内研究のテーマも「コミュニケーションを図れる子どもの育成」だったので、それにつなげて取り組んだ。

「ペア・グループ活動」は、表のような「目的」を明らかにしながら、事前・事後の活動を工夫し、子どもが主体的に自分の考えをまとめる授業を目指している。ペア活動の「規律」「話型」「深め方」等を作成し、授業改善のめあてにして取り組んだ

「ふりかえり」では、全校で「観点」を共有し、様々なふりかえりの仕方、生かし方等を研修し取り組んでいる。